

東京・春・音楽祭

-東京のオペラの森 2013-



語りと音楽～《大人も楽しい》グリム童話の世界

日時：2013年4月8日（月）19:00 開演 会場：東京文化会館 小ホール

●シューマン：おとぎ話 op.132

シューマンの晩年 1853 年に書かれた作品だが、53 年と言えば、シューマンが若きブラームスと出会い、彼の音楽性に将来の希望を見出した年でもあった。その一方で数年来、心身の不調を抱え続けてきたシューマンは、翌 54 年にはライン川への投身自殺を図り、エンデニヒの精神病院に収容されてしまう。しかしこの作品は、そんな暗い影の片鱗すら感じさせないほど穏やかで美しく、ロマン的な曲想が羽ばたいている。

ヴィオラ、クラリネット、ピアノという珍しい編成の室内楽であり、音域も近いヴィオラとクラリネットは、軽やかに流れるようなピアノ伴奏のうえで、息の合った掛け合いをみせる。この曲は、弟子のアルベルト・ディートリヒに友情を込めて献呈された。